

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2024 年 5 月 5 日 16 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 能代科技	17 1st 31 8 2nd 37 16 3rd 21 13 4th 25 0 T	チームB 藤枝明誠
54 ●		114 ○

主審:Crew chief
水木 順仁 秋田
副審:Umpire
工藤 央弥 秋田
諸沢 駿 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials
能代松陽高校 女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		佐藤 悠斗		-	-	-	-	0	12	×	永田 貴陸		11	1	4	0	1
5	×	畠山 悠仁		4	0	2	0	0	13	／	渡邊 聖		10	2	1	2	0
8	／	吉岡 寿吉		3	0	1	1	1	16	／	渡辺 倫久		2	0	1	0	1
9	／	山崎 七星		21	4	3	3	0	19	×	野津 洸創		8	0	4	0	0
10	／	鈴木 慶人		2	0	1	0	5	21	／	高平 爽太		10	0	5	0	3
11	×	宮田 蒼羽		8	0	4	0	1	31	／	金子 來樹		5	0	2	1	1
12	／	近藤 愛翔		0	0	0	0	0	32	×	野田 凌吾		2	0	1	0	0
13	／	安藤 璃琥		0	0	0	0	0	35	／	柴田 陽		7	0	3	1	0
14	／	名古屋 蒼良		3	1	0	0	0	37	／	董 博仁		4	0	2	0	0
15	／	熊澤 隼		1	0	0	1	2	39	×	篠原 遼太		0	0	0	0	0
16	／	下田 瑛斗	cap	0	0	0	0	1	44	／	アマー エマニエル		24	0	11	2	0
17	×	金 隼輝		5	1	1	0	2	47	／	高松 悠季		0	0	0	0	0
18	×	松田 来翔		0	0	0	0	1	55	／	小森 蒼斗		12	1	4	1	0
19	×	信太 虹輝		7	1	2	0	3	77	／	徳田 翔太		6	1	1	1	0
20		大嶋 遥佳		-	-	-	-	0	99	×	ホヌ ロッドブリス	cap	13	1	5	0	0
コーチ		長谷川 聡						0	コーチ		金本 鷹						0
コーチ		遠田 貴大						0	コーチ		日下部 二郎						0
合計				54	7	14	5	16	合計				114	6	44	8	6

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	21	38.89%	山崎 七星
2	8	14.81%	宮田 蒼羽
3	7	12.96%	信太 虹輝

1	24	21.05%	アマー エマニエル
2	13	11.40%	ホヌ ロッドブリス
3	12	10.53%	小森 蒼斗

Score ranking[Game]

1	24	アマー エマニエル	藤枝明誠	2	21	山崎 七星	能代科技	3	13	ホヌ ロッドブリス	藤枝明誠
---	----	-----------	------	---	----	-------	------	---	----	-----------	------

3日間の熱い戦いも最終戦を残すのみとなった。既に今大会準優勝を決めている藤枝明誠に新生能代科技が挑む。
1Q、圧倒的高さを誇る藤枝明誠が容赦なく能代科技に襲い掛かる。#19野津のジャンプショットで幕を開けると、激しいディフェンスに能代科技はシュートすら打たせてもらえず0-10のランを許す。それでも能代科技#11宮田が3連続で得点し必死に食い下がる。藤枝明誠の猛攻を何とか凌ぎ#9山崎が3Pを決めて奮闘。17-31で1Q終了。
2Q、藤枝明誠はメンバーを総入れ替えしオフェンスのギアを上げると、更に点差は広がっていく。能代科技も伝統の速攻に持ち込みたいところだが、藤枝明誠のフルコートプレスにスコアが止まる。絶えずボールを支配し続けた藤枝明誠が一方的に攻める展開となり、25-68で前半終了。
3Q、前半同様藤枝明誠の時間が続く。しかしその中で能代科技#18松田のゲームメイクにはきらりと光るものが見えた。能代科技#9山崎の3Pやドライブインに会場が沸く場面があったものの、終始安定したゲームを展開した藤枝明誠が41-89と大量リードし最終Qへ。
4Q、試合の勝敗は既に決したが、能代科技は何かを得ようと懸命にプレイを続ける。藤枝明誠もそれに応えて手を緩めない。これから先を見据えて両チームともタイムアップまで走り続けたが、スピード・パワー・テクニック、全てで上回る藤枝明誠が10年前の雪辱を果たし114-54で勝利した。敗れはしたものの1、2年生のみで最後まで戦った能代科技高の今後に期待したい。

文責 【 山本 太志 】